

Ⅲ-2-⑥主要国のエネルギー自給率(内訳含む)

エネルギー自給率の高い国は、自国内の化石燃料が豊富な場合が多い(1位~12位)。

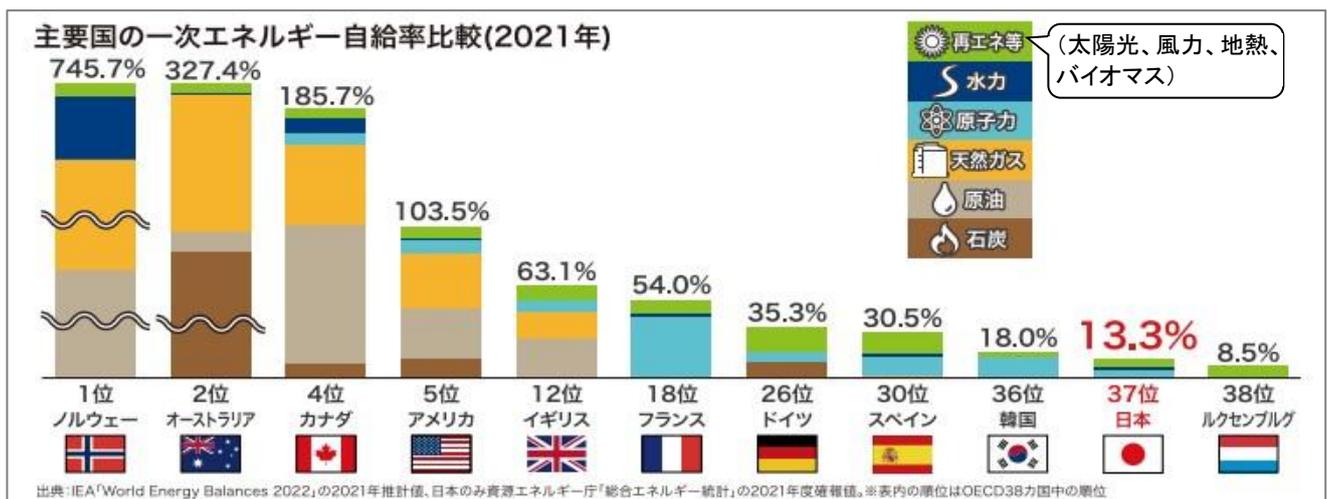
一方、18位のフランス、30位のスペイン、36位の韓国では原子力が多く(IEAでは準国産とされている)、そして26位のドイツ、30位のスペインでは再エネが特徴的となっています。

日本は、再エネと原子力を足し合わせても13.3%しかなく、国を守るエネルギー安全保障をどう高めるか、その基盤が如何に脆弱であるかを見据える必要があると考えます。

電気を生みだせるのは、化石燃料、再エネ、原子力の3つが主な手段です。このような中、CO2を出さない電源の必要性が叫ばれ、化石燃料は減少せざるを得ない状況です(電力の質の問題)。

そして、1.2億人という大きな人口と付加価値を生み出す製造業の円滑な活動に要する膨大なエネルギーが必要であり、また、AIの進化で必要とする電力が足りなくなるとの観測もあります(電力の量の問題)。

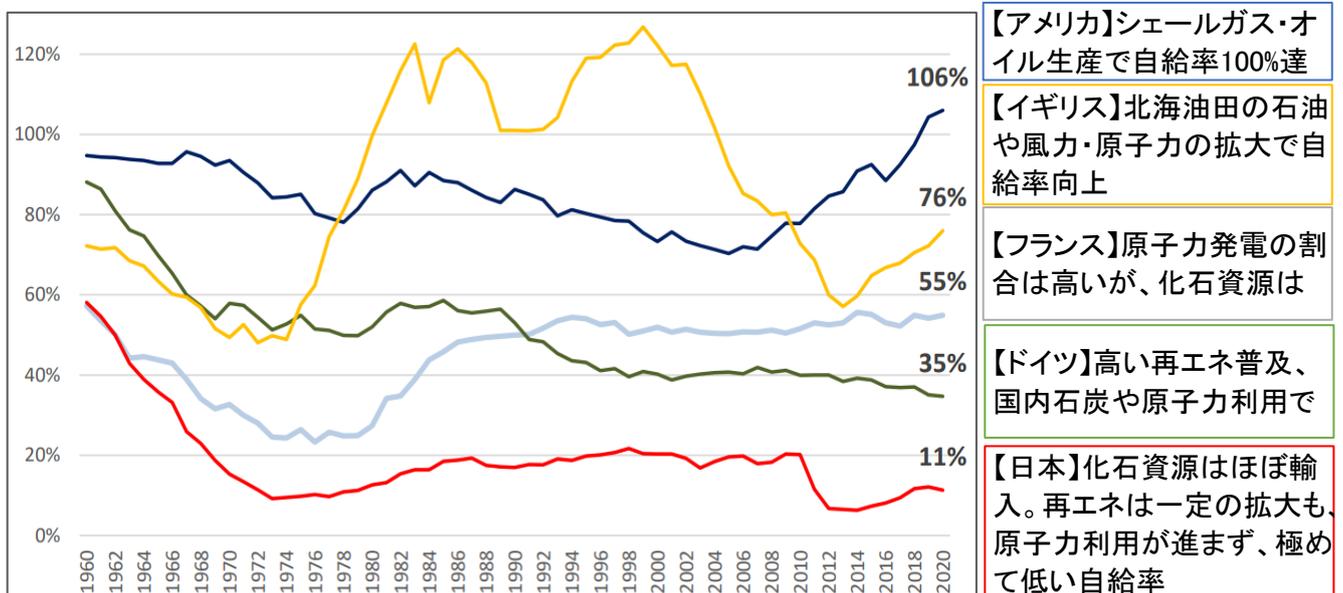
これらのことから、残りの2つの電源(再エネと原子力)はどちらも重要と考えられ、これらの貴重な国内資源の活用で何とか未来への対応をしていく必要があると考えます。



出典: 日本のエネルギー2024/2 P1

主要国のエネルギー自給率

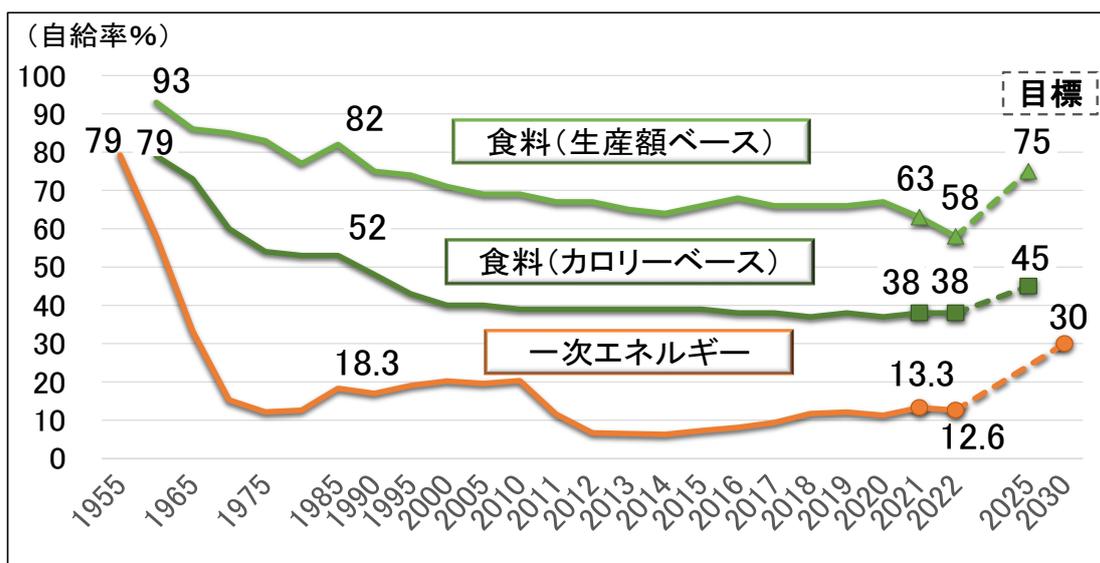
【参考】



出典: 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会(第52回)資料1 P22

主要国の自給率の推移

食料自給率との比較（カロリーベース）では、1/3以下と極めて低い。



出典：農林水産省日本の食糧需給率
エネルギー白書2024 第211-4-1

食料とエネルギーの自給率推移